

国選定重要伝統的建造物群保存地区

宿場 大内宿



は はい い い と と (入る戸)

つい最近まで私たちの生活では、玄関に
常時施錠することはありませんでした。

くつ(はきもの)をぬぐまでは公共性があり、
ここまでの挨拶が「はい」とです。

はきものを脱ぐまでに庭(土間)空間があり、
今では懐かしい言葉になりました。

親しみをもち合う簡単な掛け声です。



宿場 大内宿

国選定重要伝統的建造物群保存地区

はいつと(入る戸)

つい最近まで私たちの生活では、玄関に常時施錠することはありませんでした。くつ(はきもの)をぬくまでは公共性があり、ここまでの挨拶が「はいつと」です。はきものを脱ぐまでに庭(土間)空間があり、今では懐かしい言葉になりました。親しみをもち合う簡単な掛け声です。

遥かなる時を超えて 宿場 大内宿



山間にひっそりたたずむ村「大内宿」、ここは、江戸時代の宿場を今に残す、全国でも数少ない集落です。村を通る街道は、下野街道(しもつけ)または会津西街道あるいは南山通り(みなみやま)と呼ばれ、参勤交代の大行列もこの街道を通る、会津と今市を結ぶ重要な街道でした。明治17年、国道121号線が開通すると大内宿はその道すじから遠く離れてしまいました。

今なお語りつがれる高倉宮以仁王伝説

平清盛の全盛期に源頼政とともに平家討伐に蜂起した高倉宮以仁王(もちひとおう)《後白河天皇第二皇子》は、戦いに敗れこの村に落ち延びてきたというロマンを秘めた伝説があります。毎年7月2日に行われる祭りは、この高倉宮を祀ったものです。



大内宿町並み展示館

大内宿本陣跡に、宿駅時代の本陣が復元されました。現在も図面などの記録は見つかっておりません。このため、同じ会津西街道の川島本陣や糸沢本陣を参考に再建され、町並み展示館として後世に残されることになりました。



半夏まつり

毎年半夏の日(7月2日)、大内宿の夏は「半夏祭り」で始まります。天狗等の時代衣装を身にまとった、行列が練り歩く時代絵巻です。



鉄道で
浅草駅—新藤原駅—会津高原尾瀬口駅—湯野上温泉駅
東武鉄道 野岩鉄道 会津鉄道
3時間半(JR新宿駅発もあり)

JR東京駅—JR郡山駅—JR会津若松駅—湯野上温泉駅
東北新幹線 JR磐越西線 会津鉄道
3時間半

4/1~11/30までの期間、湯野上温泉から大内宿まで一日6便の周遊バス(猿遊号)が運行しています。

お車で
東京—白河IC—289—大内宿
東北自動車道約3時間
仙台—須賀川IC—118—大内宿
東北自動車道約3時間
新潟—新鶴スマートIC—131—大内宿
磐越自動車道約2時間

お問い合わせ先

大内宿観光案内所
TEL・FAX 0241-68-3611
<http://www.ouchi-juku.com/>

重要伝統的建造物群 保存地区の選定

江戸時代の宿駅制度の中での宿場の面影をよく残し、歴史的遺産としての価値が認められ、昭和56年4月に宿場としては中山道の妻籠宿・奈良井宿について3番目に国の選定を受けました。現在も結いとよぶ相互扶助により集落を守っています。



大内宿雪まつり

毎年2月第2土・日曜開催。道には多数の雪灯ろうが作られ、夜には雪に埋もれる茅葺きの町並みを幻想的に照らします。



子安観音

この村の婦人方の安産信仰であり、観音講の中心でもある。毎年5月に祭礼があり、子供達の健やかな成長を祈願し、小さな着物を奉納します。



高倉神社

治承年間平家の専横によって、皇位にもつかず悲劇の王として都落ちした高倉宮以仁王の霊を祀っています。



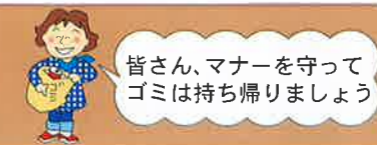
桜木姫の墓

高倉宮以仁王御内室のお供をしてきた桜木姫は、長旅の疲れから18歳の若さで亡くなりました。

大内宿西街道散歩道

おお ろち じゆく にし かい どころ さん ぼ どころ

大内宿へ
お出でになる皆様へ



右記のシーズンは時間
に「ゆとり」を持って
お越し下さいますよう、
お願い申し上げます。

- 5月ゴールデンウィーク
- 8月のお盆休み期間
- 秋の紅葉シーズンの土・日曜

なお、お車でお出での際には、会津美里町方面から「大内宿こぶしライン(県道131号下郷会津本郷線)」のご利用をお勧めいたします。



会津鉄道 湯野上温泉駅から約7km。
大内宿がいよいよ見えてきた。
江戸時代の旅人が今でも出そうだ。



五穀豊穡や家内安全、商売
繁盛で名高い観音堂です。

↑湯野上温泉駅
会津若松市
国道121号線

南会津町
→ 栃木県・日光市
国道121号線

会津西街道

大内宿町並み展示館

大内宿町並み展示館は国選
定重要伝統的建造物群保存
地区「大内宿」のほぼ中央に
ある茅葺き屋根の建物です。
かつての間屋本陣跡を再建
したもので、館内には江戸時
代の部屋があり、写真や生活
用具1,300点あまりが展示
されています。



新そばの時期は、11月から美味
しいそばが味わえます!!そば打
ち体験もできます!!(要予約)



←大内宿こぶしライン
大内ダム
会津美里町
会津若松市
磐越自動車道
新鶴スマートIC

見晴台

子安観音の脇に集落を一望できる見晴台があり、
ここからの眺めがオススメポイントです。
石段がきついで迂回路をご利用ください。

お 加登屋
☎68-2941

お ます屋
☎68-2953

お 叶屋
☎68-2954

お 浅沼食堂(扇屋分家)
☎68-2378

中屋
☎68-2924

お 吉田屋
☎68-2944

お 山田屋
(茶房やまだ屋)
☎68-2943

お 美濃屋(分家)
☎68-2942

民 お 山形屋
☎68-2932

お 大黒屋
☎68-2003

お たまき屋
☎68-2925

お みなとがわ屋
☎68-2939

お えびす屋(分家)
☎68-2950

お 松本屋
☎68-2919

お 萬屋
☎68-2929

民 お 本家扇屋
☎68-2945

お 南仙院本家
☎68-2940

お みなと屋
☎68-2933

お 扇屋(分家)
☎68-2952

民 お 伊勢屋
☎68-2958

お 松美屋
☎68-2937

お 三澤屋
三澤屋茶屋 ☎68-2927

大内宿観光案内所
☎68-3611

米屋
☎68-2915

新米屋
☎68-2956

お 松川屋
☎68-2004

P 大内宿有料駐車場

P 沼山

有料駐車場

大内宿こぶしライン(県道131号)

お 叶屋(分家)
☎68-2923

お 美濃屋
☎68-2934

お 本家玉屋
☎68-2946

お 石原屋(脇本陣)
☎68-2914

高倉神社

お 大和屋
☎68-2911

お 松葉屋
☎68-2936

大内宿町並み展示館
☎68-2657

お えびす屋
☎68-2922

お 富屋(脇本陣)
☎68-2951

お 山本屋
☎68-2912

食 玉川屋
☎68-2930

お 富士屋
☎68-2955

お 米屋(分家)
☎68-2928

お 糸屋
☎68-2938

お 新富士屋
☎68-2002

お 扇屋(分家)
☎68-2949

お 吉美屋
☎68-2959

お 田沼商店[扇屋(分家)]
☎68-2916

お 和泉屋
☎68-2935

お 扇屋(分家)
☎68-2947

お 若松屋
☎68-2913

会津西街道と大内宿

この街道はいつ頃できたかははっきりしませんが、1590年に豊臣秀吉が奥羽仕置きで会津平定の帰りに通っているとされています。その頃は街道としての形態はなしていません。会津藩主「保科正之」によって1640年代に参勤交代や年貢米などを運搬するために、会津若松城下から下野国(栃木県)今市宿までの32里(128km)が会津西街道(下野街道・南山通り)として整備されました。この間に14の宿場を設け、大内宿はその一つの宿場です。農業をしながら次の宿場までの物資運搬による駄賃収入で生計を立てていました。会津若松城下から江戸までは約61里(244km)、五泊六日の参勤交代の行程であったようですが、大内宿は若松から5里程度で早朝に城を出た大名行列の昼食休憩の宿場でした。大内宿の各家庭には屋号があり、現在も屋号で呼び合う習慣が引き継がれています。

下郷町大内宿 アクセス

日本海



鉄道で

浅草駅——新藤原駅——会津高原尾瀬口駅——湯野上温泉駅
東武鉄道 野岩鉄道 会津鉄道
3時間半 (JR新宿駅発もあり)

JR東京駅 — JR郡山駅 — JR会津若松駅 — 湯野上温泉駅
東北新幹線 JR磐越西線 会津鉄道
3時間半

4/1~11/30までの期間、湯野上温泉から大内宿まで一日6便の周遊バス(猿游号)が運行しています。

お車で

東京——白河IC——
東北自動車道約3時間
仙台——須賀川IC——
東北自動車道約3時間
新潟——新鶴スマートIC——
磐越自動車道約2時間

大内宿(駅より車で10分)

大内宿

お問い合わせ先

大内宿観光案内所

TEL・FAX 0241-68-3611
http://www.ouchi-juku.com/